

特集

インフラの魅力が 伝わる広報へ ～地域の成功例に学ぶ～

【特集の趣旨】

我が国では、インフラが国民生活や経済活動に極めて重要な役割を果たしているにもかかわらず、そのことが十分に認識されておらず、逆にインフラ整備を負のイメージとしてとらえる状況が長く続いていました。

関係機関ではこれまでインフラ整備の必要性や役割について、一般の人に自らの目で見え気づいてもらえるように「伝わる」広報活動が展開されてきました。また、各地域では、暮らしを支えているインフラの役割・意義・魅力等について住民の理解を得ることや地域の担い手を確保すること等に向けて、行政や民間団体により様々な手法で広報の取組が行われてきました。

昨今ではSNS、インターネット、テレビ、ラジオなど、あらゆる情報発信手段を取り入れた広報活動が行われていますが、狙いに応じてどのようにして効果的な広報活動を行うべきか、多くの全建会員にとって悩みの一つとなっています。

今号の特集では、総論として関係機関のインフラの魅力が伝わる取組を紹介するとともに、地方整備局や地方公共団体で取り組んでいる広報活動として、SNSを戦略的に活用した事例、工事現場の見せ方を工夫した事例、地域住民とのコミュニケーションを通じた広報の事例等を紹介します。

特集担当編集委員 小林 怜夏

(国土交通省 港湾局 参事官(技術監理・情報化)室 課長補佐)



「NIPPON防災資産」の「優良認定」に認定された、和歌山県土砂災害啓発センターでの語り部活動(今号P12～15「NIPPON防災資産」の認定に関する取組」より)



CONTENTS

・土木広報の歴史と転換点	8
・「NIPPON防災資産」の認定に関する取組	12
・千葉の未来を支える子どもたちに届け！	16
・岡垣バイパス4車線開通における広報活動の取組	19
・「日明じゅんかんファーム」で新たな学びの場を創出！	22
・港のこと知ってもらい隊！！	25
・「YouTube」を活用した土木の魅力発信！	29